

こんにちは！ 日本共産党の **好きです！憲法9条**

# 大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2012年8月10日 No.212

〒319-1112

東海村村松2401-2

toukai@oona-mieko.info

電話・ファックス 029-284-0761

## 長岡市 (7月19日に視察) 災害に強いまちづくり



灰色の円形をしているのが災害用トイレの上蓋。全24基。使用の際には、囲いをつける。



高い天井の屋根付き広場



子育ての駅ぐんぐんの入り口。乳児から幼児まで利用できるそれぞれのスペースが確保されている。有資格者を配置

水害や中越大震災などに見舞われたときの教訓に学び、災害に強い都市（まち）をめざす方針をたて、防災の拠点として長岡市民防災センターを建設しました。長岡防災シビックコア地区の一角にあります。

通常は、子育ての駅・屋根付き広場として使用されていて、非常時には災害対策本部になり、地区内に避難用テント475張、災害用トイレ24基、非常時用の飲水タンク（約11000人、1人1日3ℓ、3日分）、緊急用ヘリポート利用できるなど整備されています。

防災の拠点と地域の子育ての拠点がなぜ同じ場所か、訪ねてみましたところ、長岡は雪深い町で、遊べる場所が少なく、施設を利用して、天候に左右されない場所として利用しているそうです。

## 豊橋市で操業のマルコー商会弥栄工場 (8月6日) 産廃処理施設と地域との関係について調査



豊橋市で操業のマルコー商会弥栄工場 (8月6日) 産廃処理施設と地域との関係について調査

東海村の産廃訴訟原告団と弁護士さんと豊橋市の産廃処理業者（株）マルコー商会と、地元で環境を守る会活動をされている伊藤さん（写真：手ぬぐいを頭に巻いている方）を訪ねました。

弥栄工場で「24時間運転の燃焼温度のデータを開示してほしい」と求めましたが、「今日は、故障の修理中で、手はずせない」と断られました。マルコー商会の焼却炉は、川根区に建設予定の（株）大豊プラントの産廃焼却炉（TS-240）と同じメーカー（既に倒産）の炉（TS-350）を使用しています。

工場長の話では、「平成3年10月から24時間操業。5～6年ぐらいたって

